

# 行政サービスUPに コンビニの協力を

落合信太郎 議員

**問** コンビニにAEDを。消防長 市内34カ所のコンビニオーナーの御理解をいただき、来年度設置。

**問** コンビニは、経済的役割だけでなく、防犯・防災、行政サービス代行など、無限の可能性を持っている。住民票交付などの実施を。総務部長 マイナンバー制度が始まり、個人番号カードを持ち、公的個人認証サービスを活用してコンビニで様々なことができるようになる。市では住民票など各種証明書の発行を来年7月実施に向けて進めている。

**問** 埼玉県川口市では、ローソンが高齢者向け商品を充実させたり、介護相談窓口なども併設した「ケアローソン」がある。市においてもコンビニの有効活用を。



「ケアローソン」の看板(埼玉県川口市)

**健康福祉部長** 先日、市内に16店舗あるセブンイレブんと高齢者見守り協定を提携した。今後、その他の取り組みに注視したい。



歯科検診の様子

## とても大切！ 歯科保健

齋藤 久代 議員

**問** 歯科保健の取り組み状況やその意義を確認する。健康福祉部長 保健センターにおいて、妊娠期にはプレママ教室として歯科の講義とブラッシング指導を実施。乳幼児期は、歯磨き習慣の準備指導や1歳6カ月健診時には歯科検診とブラッシング指導など行っている。また、今年度からは1歳歯つびい歯みがき教室を開始した。成人期は、歯周病は単なる口腔の問題だけでなく、生活習慣病との密接な関係もあるため、歯の健康を保つことは大変重要なことと認識している。

**問** 保護者が発達障がいを理解するため、ペアレントトレーニング実施の現状は。健康福祉部長 これまで33人が参加し、今年度は、主任講師として障害福祉課職員が担当。先進事例として他市から注目されている。特別支援教育を受ける子どもの数が年々増加傾向にある。教育現場と市にお

**教育長** 学校では全校で歯磨きに取り組んでいる。

**問** 8020(80歳で20本以上の自分の歯を保つ)運動推進のためにも、10歳刻みでの歯科検診補助を。健康福祉部長 今後検討。

**問** 検討ではなく、明確な計画によって事業実施を。答 まずは歯周病検診実施に向けて進めていく。

## 発達障がいへの 理解を

阿部 洋子 議員



キャラバン隊活動の様子

**問** 発達障がい児への関わり今後の展開は。障害福祉課長 こども発達センターを利用する母親以外にも拡大していきたい。また、トレーニング内容もその都度改良し、対応。

**問** ペアレントメンター養成の質問をして早5年。養成事業開始への所見を伺う。答 来年度、養成研修の準備までできればと考える。

**問** 特別支援学校保護者の皆さんが、子どもたちの障がいを知ってほしいとの思いから、キャラバン隊を組織し、活動している。市も連携して推進できないか。答 積極的に連携したい。

**※ペアレントトレーニング：**発達障がい児を持つ親のための子どもの育て方のトレーニング。子どもの行動の分類や対処法などを学ぶ。

## 保育問題に 切り込む

池田 慈 議員

**問** 41人の待機児童がある要因は、保育士不足のため。正規保育士の増員を。健康福祉部長 正規職員保育士80人体制を維持。

**問** 我孫子市では、保育サポーターを認定し、有償ボランティアを配置している。取手市でもその考えは。答 状況を調査したい。

**問** 急な疾病時など、緊急な入所への対応は。子育て支援課副参事 状況を確認しながら、柔軟に対応している。

**問** 病児保育の実施を。健康福祉部長 これから進めていきたい。

**問** 保育室にウェブカメラを導入し、様子がわかるようにはどうか。子育て支援課副参事 保育所の事故防止や透明性確保のメリットはあるが、保護者が断片的に見ることによる不安の増幅など、取りやめているところもある。

**問** 市には保育業務に係る苦情解決実施要綱がある。ここで規定する第三者委員の連絡先などをホームページ等で公開するなど、体制の紹介をすべきではないか。健康福祉部長 それぞれの保育園にお願いしていく。

## 平時に備えよ… 避難所設備

渡部 日出雄 議員

**問** 避難所に指定している学校等には自家発電機は備えられているのか。安全安心対策課長 全て配置している。

**問** 災害は昼間に起きるとは限らない。夜間に起こった際、真っ暗な中で避難所を開設しなければならぬ。学校施設はほとんど



シスタンク式トイレ



フラッシュバルブ式トイレ

200<sup>ボルト</sup>、自家発電機は100<sup>ボルト</sup>のため共有できるようなトランスを入れるなど、準備を求める。次に、避難所で困るものとしてトイレの問題がある。断水の状態で1時間で詰まって使えなくなる。仮設トイレも設置にはかなりの時間がかかる。そこで、学校プールの水を自家発電機と井戸ポンプでくみ上げ、水洗トイレに送る仕組みを構築すべき。

学校のトイレは、シスタンク式(タンクにある水で流す)とフラッシュバルブ式(レバーを押して配管から水が流れる)の方式がある。シスタンク式ならば、この方法で対応できる。万が一の避難所での生活安定のため検討を求める。市内学校におけるトイレの方式の比率は。答 約半々の現状。